



集まって話し合うのが第一歩 第8回池袋地区分会大会開催

1月23日、地本会議室に於いて、第8回池袋地区分会大会が開催された。来賓に宝地戸さん（JHU労組）を招き、8人の参加で行われた。おもに全体討論で出された意見と終了後の旗開きで出された意見を掲載したい。

新宿SCSP

- SCSPのプロパー社員は10年間、基本給が上がっていない。手取り18万円。超勤や休日出勤などして手取りが約30万円になり、それなりの生活ができる実態である。
- 自分はユニオンの活動に顔を出してきた。「なんとか働く者の待遇をよくしよう」とお互いに学び合いながら続けてきた。今エルダーになって、どのようなアクションを起こせばいいのか悩んでいる。機関も各職場の実態をきちんと吸い上げて、諸権利を守る闘いをつくってほしい。



JESS高田馬場駅

- 2月10日からみどりの窓口が廃止になる。要員的には一徹減となっている。高田馬場駅は学生の利用者も多い。通学定期などを求めに来るこの時期に、なぜみどりの窓口をなくすのか。利用者のことをまるで考えていない施策でサービスの低下ではないか。
- 戸山口も時間帯で無人になり、カード詰まりや券詰まりの際は早稲田口から飛んでいかなければならない。しかも目白駅も朝の時間帯は無人で、高田馬場の早稲田口で遠隔操作をしている。対応が非常に不安である。
- 今後重要となってくるのは、職場過半数代表者選挙である。JESS新宿管区は事前に集りを持ち、話し合う予定だ。

JESS池袋駅

- 池袋のJESSはこれまで遺失と車イスを扱ってきた。南口のみどりの窓口が閉鎖され、そこに詰所が移り、今度は券売機の保守も加わった。エルダー社員のほとんどが乗客上がりで、1回の研修だけで今まで触ったこともない券売機保守をやっている。4月からは締切作業もさせると言っている。しっかりと見習いをつけるよう申し入れている。

池袋運輸区

- ダイヤ改正で育児や介護で時短勤務の人の行路がなくなり、一般行路に組み込まれる。日勤行路は山手線を5周～6週乗務するが、育・介の人が4周乗務し、残りは一般の人が乗務する。過去には時短行路が減った影響で保育園の送り迎えができなくなり、会社を辞めざるを得ない人もいた。

宝地戸さん

- 先日の日航機の事故について少し触れたいと思います。。客室乗務員はよくやったと思いますが、脱出までに18分かかったのはどうだったのか、今後の検証が必要です。機材によっては非常扉数だけ客室乗務員がいない場合もあります。非常扉の数だけ客室乗務員を乗せなさい、と強く言っていく必要があります。。労働委員会闘争は第1回の斡旋がありました。今後具体的な要求を出しながら、運動もしっかり進めていきたいと考えています。

平和と民主主義を守り格差のない社会を！ 北部労協第32回定期総会開催

1月23日、としま産業振興プラザに於いて、北部労協第32回定期総会が開催された。総会には北部労協副議長の野佐根さんとともに、東京支部から東組織部長が参加したので報告をしたい。

★東京全労協 大森議長

都知事選、解散総選挙等何が起こるか分からない。世界で未だに戦争が続けられている事実も含めて全労協として反戦・平和運動の取り組みを強化していかなければならない。沖縄南西諸島の軍事基地化、1月10日、辺野古基地建設再開、昨年11月29日には米軍横田基地配備のオスプレイが墜落して米軍兵士8名が亡くなった。沖縄でも墜落して完全に欠陥機であることは証明されている。安全である事をつくり上げるために声をあげ、戦争に反対していくことを具体的行動で示していく必要がある。



一方で、今一番問題になっているのは現政権と財界が一体となってつくり上げた格差社会だ。今の社会構造を変えていくエネルギーをつくるためには最低賃金の引き上げの闘いは極めて重要。

こういう状況で、何で声をあげないで甘んじているのか、というところが問題。そこを突破するのが労働組合だ。

★練馬全労協 鈴木事務局長

賃上げは労働者が要求して勝ち取るもの、賃金とは何か、労働組合とは何かをもう一度腹を据えて地域から北部全労協と共に労働運動の再生に向けて頑張らないといけない。

★北部春闘会議 益子事務局長

失われた30年から脱却した24春闘にしなければならない。北部春闘共闘も北部労協と共に連帯して闘う。3/14には春闘デモをやりたいと考えている。

★JAL闘争団 小国さん

いつもご支援ありがとうございます。昨年の12月22日JAL本社抗議行動に700名を超える仲間が結集しました。来年も頑張るんだ、というエネルギーをいただき争議団35名、心から感謝しています。

1月2日に羽田空港でJAL機と海上保安機の衝突事故が発生しました。JAL旅客労働組合として見解を出しました。滑走路の誤進入は世界的にも多い事象ですが、誤進入しても大きな事故にならない為の安全装置や人的な要因など多くの問題があります。今回の事故では、客室乗務員が保安要員だと言うことがハッキリしたのだと思います。客室乗務員もパイロットや整備士と同様に航空法上の航空従事者として国家資格を与えよという要求を、この間40年以上言い続けていますが改善されていません。

私たちの解雇問題は、モノを言う労働者の排除であっただけに、今後もモノを言い続けることで皆さんと共に頑張っていきます。

＝終了後引き続き同会場で旗開きを開催し、交流を深めあってきました＝

